

令和3年度 第2回経営協議会議事要録

日 時：令和3年 6月21日（月） 14：00～15：59

場 所：オンライン会議（Teams）

出席者：太田学長，尾崎委員，小野寺委員，川上委員，川村委員，種田委員，辻山委員，外山委員，沼田委員，森田委員，渡邊委員，久留主理事，佐川理事，山岸理事，鳥羽田理事，菊池理事，内田人文社会科学部長，田内理学部長，増澤工学部長，戸嶋農学部長
監事監査規則第9条第2項による出席者：中根監事，浅見監事

議 題：

審議事項

- 1 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
- 2 令和2事業年度決算について
- 3 大学機関別認証評価自己評価書について
- 4 令和3年度ガバナンス・コードの適合状況等の報告書の作成について
- 5 令和4年度概算要求について

報告事項

- 1 第4期中期目標・中期計画（第3次骨子案）について
- 2 令和4年度施設整備費に係る概算要求について
- 3 その他

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について
太田学長から，令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書について，資料1に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで，佐川大学戦略・IR室長から説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

【主な意見】

- ・コロナ禍において，大学の授業の展開には苦勞されていると思うが，学生の理解度・満足度が上がり，成績が向上したのはすばらしいと思う。リモート授業は，対面授業の代替手段として緊急避難的に開始されたと思うが，メリットも多いということがわかった。今後も対面授業とリモート授業を併用し，ベストミックスの形態を維持していただきたい。
- ・「教育研究等の質の向上の状況」において，「卒業時のDP（ディプロマ・ポリシー）達成度」のレーダーチャートを見ると，グローバル化に関する項目が極端に低い評価になってしまっている。また，関連して「国際社会に対する幅広い知識」や「茨城をはじめとする地域の活性化に自ら進んで取組み，貢献する地域活性化志向」等も比較的低い評価となっているが，これらに共通するベースは同じもののように思う。レーダーチャートを調和のとれた形にするためには，集中的な取組が必要だと感じた。より強化できるような施策を打たれることを期待したい。

- 2 令和2事業年度決算について
太田学長から、令和2事業年度決算について、資料2に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、財務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 3 大学機関別認証評価自己評価書について
太田学長から、大学機関別認証評価自己評価書について、資料3に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、西川全学教育機構長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 4 令和3年度ガバナンス・コードの適合状況等の報告書の作成について
太田学長から、令和3年度ガバナンス・コードの適合状況等の報告書の作成について、資料4に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、総務課長から説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 5 令和4年度概算要求について
太田学長から、令和4年度概算要求について、資料5に基づき審議願いたい旨の提案があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

II 報告事項

- 1 第4期中期目標・中期計画（第3次骨子案）について
佐川大学戦略・IR室長から、第4期中期目標・中期計画（第3次骨子案）について、資料6に基づき報告があった。

【主な意見】

- ・茨城大学の得意分野が凝縮された目標と計画となっており、きちんと遂行できると思われる。社会との共創という点は特に茨城大学の特徴でもあると思う。
- 2 令和4年度施設整備費に係る概算要求について
施設課長から、令和4年度施設整備費に係る概算要求について、資料7に基づき報告があった。
 - 3 その他
太田学長から、「イバダイ・ビジョン2030」を策定し、パンフレットにまとめた旨、報告があった。また、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生及び本学に対する爆破予告への対応等について報告があった。

III その他

- 1 全体を通した経営協議会委員からの意見
特になし
- 2 監事からの意見
 - ・令和2事業年度に係る業務の実績に関する報告書については、ぜひ積極的に学内外にPRしていただきたい。
 - ・令和2事業年度は研究外部資金等の獲得額の増加や、大学教育再生プログラム（AP事業）の事後評価において、最高評価を獲得するなど、顕著な成果が見られる一方、教育研究等

の質の向上においては、国際化に関する項目の達成度が低いため、今後の課題として取り組んでいただきたい。

- ・大学機関別認証評価の領域6「教育課程と学習成果に関する基準」において、事前相談で指摘のあったCAP制の規程の制定や、CP（カリキュラム・ポリシー）、DP（ディプロマ・ポリシー）について記載等が不十分であった点に関しては、早急に対応していただきたい。

3 次回経営協議会開催日

太田学長から、7月にメール審議を予定している旨、お知らせがあった。